

2012.12.17

「衆院選勝利に感謝。来夏の参院選が本当の勝負だ」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は12月17日です。昨日、衆議院選挙があり、自公合わせて320議席越え、自民党の大勝利でありました。お陰様で政権交代まであと一歩というところまでできました。私は今回の選挙では地元の京都を始め、全国の候補者を応援遊説に訪ねました。自民党に対する期待の票があったのは事実です。

しかし、今回の自民党の勝利は、民主党が自滅をしてしまったのが一番の大きな原因です。かつての郵政選挙では自民党に対して追い風があり、あれよあれよ、という間に300議席を獲得しました。前回の選挙では政権交代の名の下に厳しい反自民の風が吹きました。それに引き替え、今回の選挙は「自民党頑張って」という声もありましたが、民主党がだめだ、という反応が非常に多かったのです。

結果として民主党は50台の大惨敗という議席に減らしてしまい、解党に等しいような状態に陥ってしまったのです。しかし、その結果、自民党は294議席をとり、他勢力は民主党をはじめ維新や第三極を合わせて約100議席になり、前回の自民党が負けた議席数と同じようなことになっています。

今回の勝利で自民党は憲法改正など、再可決に必要な3分2議席以上を確保しましたので、なんでも出来るではないか、と主張する人がおられるのですが、

それは全くあり得ないのです。なぜかと言えば、現在の自民党は衆議院で勝ったとはいえ、参議院ではねじれであり、自公で過半数をとっていません。過半数には16議席足りないのですから、憲法改正のハードルは高いのです。

今やらなければならないのは補正予算をつくることであり、安倍総裁がおっしゃるように、デフレ脱却です。

そのためには、日銀と協力して市場にお金を回さなければなりません。仕組みは次のようなものです。日銀に、民間の銀行が保有する国債を買い取らせ、民間銀行にお金をまわします。そして、企業への融資が進むように、政府が率先して財政支出する。その具体例が国土強靱化ということです。先のトンネル事故が起こらないようなインフラ整備や、成長産業への研究開発といった次世代への投資、このような公共投資をすることで需要を創出します。このように需要を創出しますから、景気は間違いなく良くなります。景気が良くなれば資金需要は高まりますが、銀行は国債を大量に保有していますから資金の流動性は低くなります。そこで、日銀が民間銀行からさらに国債を買い取ることで、金利が上らずに、景気回復ができることになるのです。

以上の仕組みが成り立つには予算の編成と執行が必要不可欠です。ありがたいことに、予算の執行に関しては衆議院の優越が認められているのです。また、赤字国債を発行するには特例国債法を通さなければならないのですが、民主党も政権運営で懲りたため、先の国会で予算等が可決されれば自動的に、赤字分

の国債発行もできるようになりました。つまり、衆参のねじれにもかかわらず、予算は執行出来る状況にあるのです。

今しなければならないのは、首班指名を来週中には行い、早く内閣を作り、年明け早々に大規模な補正予算をまず組むことなのです。そして、同時に来年度の当初予算もつくらなければなりません。本来は当初予算の概算請求は今年度末には終わっていなければなりません。ですが、すでに一月以上遅れています。実際に予算案が上がってくるのは来年の2月以降になります。予算案の審議自体が、普通は1、2、3月で行っているものが、2、3、4月と一月遅れて審議をせざるを得なくなる、と思います。そうすると、5月の連休を明けた頃に、ようやく予算が通ることになりますから、4月からの予算執行が行えないことになります。ですから、補正、当初と合わせてつなぎ予算もつくり、実に十五ヶ月分の予算をつくる必要がある、ということなのです。来年の当初予算の審議は1月から始められるでしょうが、補正、つなぎも合わせて、三つの予算をつくることになります。ですから、それだけで5月が終わってしまうのです。この日程では他の法案を審議できません。

来年の参議院選挙では自公で過半数をとり、種々の法案を通すことが出来るようにしなければなりません。来年の参議院選挙が終わるまでは、参議院の議席数的にも、日程的にも予算以外の法案を通すことは無理です。ですから、ここは無理をして法案を通すのではなく、来年の参議院選挙までは、我々の政権

運営について国民の皆様にご理解を頂くことこそが重要なのです。そして参議院選挙で議席を確保した後は、政局に踊らされることなく安定した政治を行うことが出来ます。

以上の戦略を踏まえて、自民党の外交、安全保障、エネルギー政策についてしっかりと国民の皆様方に説明する必要があります。そのための説明期間が参議院選挙までの半年です。衆議院選挙において勝ったからといって、おごり高ぶらず、謙虚に素直に、全力で景気対策のための予算をつくる必要があります。これが、安倍政権の半年で行うべきことです。是非このことを皆様方にご理解頂きたいと思います。

何はともあれ、安倍政権が誕生することになりましたから、皆様方に心から御礼申し上げたいと思います。本日もご覧になって頂きありがとうございました。